

# 序

“紙パルプ製造技術全書”は昭和41年7月～昭和53年8月に各巻の初版を発行して以来、必要に応じて、個別に増補、改訂を重ねてきましたが、近年の技術革新の進展および市場動向の変化は著しく、紙パルプの分野もその例に漏れません。そのため、各巻の構成を含めて全面的に見直しを行い、“紙パルプ製造技術シリーズ”としてより充実した内容で改訂版を発行することになりました。

本シリーズの内容は、これまでと同様工場で紙パルプの製造に従事する方々をはじめ、工場管理、製品販売、資材調達などに携わる方々の参考となるように企画されておりますが、新たに社内研修や学校教育など様々な目的に利用していただけるように、『紙パルプ製造技術入門』を追加いたしました。

本シリーズは全11巻で構成されており、

- 第1巻『クラフトパルプ』
- 第2巻『メカニカルパルプ』
- 第3巻『パルプの洗浄・精選・漂白』
- 第4巻『古紙パルプ』
- 第5巻『紙料の調成』
- 第6巻『紙の抄造』
- 第7巻『仕上』
- 第8巻『コーティング』
- 第9巻『紙パルプの試験法』
- 第10巻『紙パルプ計装・制御システム』
- 第11巻『紙パルプ製造技術入門』

となっております。

これらのうち、第5巻『紙料の調成』、第10巻『紙パルプ計装・制御システム』の2巻は平成4年4月に、第8巻『コーティング』は平成5年8月に、第9巻『紙パルプの試験法』は平成7年5月に、第1巻の『クラフトパルプ』は平成9年4月に発行済みです。今回発行の第2巻『メカニカルパルプ』は“紙パルプ製造技術全書”第4巻の『高歩留パルプ・機械パルプ』を全面的に書き直し、装丁も全く新しくいたしました。

ここに、“紙パルプ製造技術シリーズ”発行の経緯を記すとともに、多忙な業務のかたわら統括者としてご尽力いただいた王子製紙の北尾修氏をはじめご執筆下さいました同社の小室晴美、八重樫勇の両氏、本書の出版を企画、推進していただいた出版委員会委員の方々並びに編集を担当された技術協会の辻井英雄氏に対して心から感謝申し上げ、この書が広く利用されることを希望する次第であります。

平成9年11月

紙パルプ技術協会出版委員会委員長

大蔵省印刷局研究所所長

高塚 隆治